

事業報告

(平成 27 年 10 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで)

(ア) 事業概要

この法人は、人物、学力共に優れた学生であって経済的理由により中学校、高等学校（高等専門学校を含む）、専門学校、大学での修学が困難である者に対して、教育奨学金の助成を通じた青少年育成に関する事業等を行い、もって我が国の教育の振興を図り、青少年の育成を通じた豊かな社会の形成全般に寄与することを目的とする。

(イ) 事業の状況

【奨学金給付】 奨学生への奨学金の支給／課題図書配布。

8 名の奨学生へ奨学金を支給／課題図書を配布。

第 2 期生 5 名（三重県立四日市高校：男 2 名／女 3 名）に 12 か月分支給

第 3 期生 3 名（三重県立四日市高校：男 1 名／女 2 名）に 4 か月分支給（2016 年 4 月公募）

1 人月額 20 千円奨学金を支給。（奨学金支給額の当期合計 1,440 千円）

【課題図書】 図書の支給

下記の課題図書の配布と課題の実施。

◆ 第 2 期生

(2015 年 10 月) プリンシパルのない日本：白洲次郎（著）

(2015 年 11 月) 修養：新渡戸稲造（著）

(2015 年 12 月) モモ：ミヒャエル・エンデ（著）

(2016 年 1 月) 考えない練習：小池龍之介（著）

(2016 年 2 月) もしも人生をやりなおせるなら：ナディーン・ステア

(2016 年 3 月) 事業発展計画書（ヤマダイ食品株式会社のもの）

(公益財団法人) モカ育志奨学基金

(2016年4月) ファウスト：ゲーテ(著)

(2016年5月) ハーバードでいちばん人気の国・日本：佐藤智恵(著)

(2016年6月) 復権するマルクス 戦争と恐慌の時代： 的場昭弘, 佐藤優(著)

(2016年7月) 決断力：羽生善治(著)

(2016年8月) 最高の休息法：久賀谷亮(著)

(2016年9月) 老子タオ

◆第3期生

(2016年6月) 自助論：サミュエル・スマイルズ(著)

(2016年7月) 賢者の書：喜多川 泰(著)

(2016年8月) 成功するために必要なシンプルな話をしよう：本多静六(著)

(2016年9月) 夢をかなえるゾウ：水野敬也(著)

貸借対照表

平成28年 9月30日現在

公益財団法人モカ育志奨学基金

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,762	173,250	△ 169,488
流動資産合計	3,762	173,250	△ 169,488
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投 資 有 価 証 券	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
奨 学 資 金 準 備 金	108,520	139,516	△ 30,996
特定資産合計	108,520	139,516	△ 30,996
固定資産合計	3,108,520	3,139,516	△ 30,996
資産合計	3,112,282	3,312,766	△ 200,484
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	0	143,572	△ 143,572
流動負債合計	0	143,572	△ 143,572
負債合計	0	143,572	△ 143,572
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄 付 金	3,108,520	3,139,516	△ 30,996
指定正味財産合計	3,108,520	3,139,516	△ 30,996
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(108,520)	(139,516)	(△ 30,996)
2. 一般正味財産	3,762	29,678	△ 25,916
正味財産合計	3,112,282	3,169,194	△ 56,912
負債及び正味財産合計	3,112,282	3,312,766	△ 200,484

正味財産増減計算書

平成27年10月 1日から平成28年 9月30日まで

公益財団法人モカ育志奨学基金

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 寄 付 金	[1,491,622]	[630,000]	[861,622]
受 取 寄 付 金	1,491,622	630,000	861,622
雑 収 益	[34]	[32]	[2]
受 取 利 息	34	32	2
経常収益計	1,491,656	630,032	861,624
(2) 経常費用			
事 業 費	[1,522,618]	[650,484]	[872,134]
課 題 図 書 購 入 費	60,876	12,260	48,616
支 払 奨 学 金	1,440,000	620,000	820,000
旅 費 交 通 費	2,710	2,240	470
消 耗 品 費	108	108	0
支 払 手 数 料 費	324	0	324
雑 費	18,600	15,876	2,724
管 理 費	[25,950]	[28,865]	[△ 2,915]
旅 費 交 通 費	0	3,260	△ 3,260
支 払 手 数 料	950	600	350
租 税 公 課	25,000	25,005	△ 5
経常費用計	1,548,568	679,349	869,219
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 56,912	△ 49,317	△ 7,595
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 56,912	△ 49,317	△ 7,595
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
指 定 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	[30,996]	[20,484]	[10,512]
特 定 資 産 奨 学 資 金 準 備 金 を 事 業 費 に 充 当	30,996	20,484	10,512
経常外収益計	30,996	20,484	10,512
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	30,996	20,484	10,512
当期一般正味財産増減額	△ 25,916	△ 28,833	2,917
一般正味財産期首残高	29,678	58,511	△ 28,833
一般正味財産期末残高	3,762	29,678	△ 25,916
II 指定正味財産増減の部			
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 30,996]	[△ 20,484]	[△ 10,512]
特 定 資 産 奨 学 資 金 準 備 金 を 事 業 費 へ 取 崩	△ 30,996	△ 20,484	△ 10,512
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 30,996	△ 20,484	△ 10,512
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	3,139,516	3,160,000	△ 20,484
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	3,108,520	3,139,516	△ 30,996
III 正味財産期末残高	3,112,282	3,169,194	△ 56,912

財産目録

平成28年 9月30日現在

公益財団法人モカ育志奨学基金

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	預金	普通預金 百五銀行・富田支店		3,762	
				3,762	
流動資産合計				3,762	
(固定資産)	基本財産		財団法人の基本財産充当のため	3,000,000	
				3,000,000	
	特定資産	奨学資金準備金 奨学金準備基金(指定)	ヤマダイ食品(株) 株式 6000株		108,520
					108,520
固定資産合計				3,108,520	
資産合計				3,112,282	
正味財産				3,112,282	

財務諸表に関する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
該当なし。

2. 重要な会計方針
「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 改正平成21年10月16日
内閣府公益認定等委員会）を採用している。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
(ヤマダイ食品株式会社株式)
売買目的でなく、基本財産として所有しているので取得金額で計上している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当なし
- (4) 引当金の計上基準
該当なし
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更
該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	0	0	0	0
建 物	0	0	0	0
定 期 預 金	0	0	0	0
投 資 有 価 証 券	3,000,000	0	0	3,000,000
減 価 償 却 引 当 資 産	0	0	0	0
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	0	0	0	0
減 価 償 却 引 当 資 産	0	0	0	0
積 立 預 金	0	0	0	0
奨 学 金 準 備 基 金	139,516	0	30,996	108,520
小 計	139,516	0	30,996	108,520
合 計	3,139,516	0	30,996	3,108,520

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土 地	0	0	0	0
建 物	0	0	0	0
定 期 預 金	0	0	0	0
投 資 有 価 証 券	3,000,000	3,000,000	0	0
減 価 償 却 引 当 資 産	0	0	0	0
小 計	3,000,000	3,000,000	0	0
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	0	0	0	0
減 価 償 却 引 当 資 産	0	0	0	0
積 立 預 金	0	0	0	0
奨 学 金 準 備 基 金	108,520	108,520	0	0
小 計	108,520	108,520	0	0
合 計	3,108,520	3,108,520	0	0

6. 担保に供している資産
該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
(直接法により減価償却を行っている場合)
該当なし。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)
該当なし。

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務
該当なし。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし。

財務諸表に関する注記

- 1 1. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当なし。
- 1 2. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
奨学金積立資金より30,996円を一般正味財産へ振替。(事業費として使用済み)
- 1 3. 関連当事者との取引の内容
該当なし。
- 1 4. 重要な後発事象
該当なし。